

校長室より⑪

2学期終業式（12月24日） 3学期始業式（1月7日）より



新年の目標を持つ

しかし、目標よりも大切なことは

**今を一所懸命生きる
今できることに最善を尽くす**

今、頑張らずに いつ頑張る？

『ぜひ初心忘るべからず』

- 若い時に**失敗や苦勞**した結果身につけた芸は、常に忘れてはならない。
- 後々の**成功の糧**になる。
- 若い頃の初心を忘れては、能を上達していく過程を自然に身に付けることが出来ず、先々上達することはとうてい無理というものだ。
- 生涯、初心を忘れてはならない。

失敗や苦勞をして身につけていくことが大切

3学期 46日間

**失敗を恐れず
試練や苦勞に立ち向かって
いきましょう**

2学期終業式では2学期一人一人の成長の中で、プラス1とアウトプットの姿を認め合いました。そして、さらにもう一步成長するために「**今を一所懸命生きる**」「**今できることに最善を尽くす**」「**今がんばらずに、いつがんばる**」ということを話しました。

そして、1月7日に令和2年度の3学期が始まりました。その始業式で世阿弥の著書『花鏡』にある『**初心忘るべからず**』という言葉について話しました。世阿弥にとっての「**初心**」とは、**新しい事態に直面した時の対処方法、すなわち、試練を乗り越えていく考え方**を意味しています。つまり、「初心を忘れるな」とは、人生の試練の時に、どうやってその試練を乗り越えていったのか、という経験を忘れるなということです。

3学期は今年1年間の振り返りをするとともに、3年生は受検という試練が待ち構えています。また、新たな一步を踏み出すためのパワーをため込む大切な46日間になります。2学期終業式にも話した「今できることに最善を尽くす」とともに、失敗を恐れず試練や苦勞に立ち向かっていきましょう。

天龍も雪景色（1月12日）



天龍中学校 60周年記念行事（1月15日）より



昭和36年（1961年）に、福島中学校と平岡中学校が統合されて、現在の地に天龍中学校として開校して60年を迎えたことを記念して、式典とシンポジウムを行いました。

シンポジウムでは永嶺誠一村長さん、至学館大学学長の谷岡郁子さん、卒業生の宮澤拓真さん、天龍小中学校の児童生徒代表をパネラーに、みんなで「ふるさとを大切にすることどうするか」をテーマにふるさと天龍村について考えました。ハンガープロジェクトに村の大工さんとして関わってくださった宮澤好正さんもインタビュービデオで心に響くお話をしてくださいました。キャリア教育の一環として、天龍村で育ってきた自分のこれからの生き方について、パネラーの皆さんのいろいろな角度からの話を聞き、考えを広げ深めることができたと思います。

梅花プロジェクト「たすきリレー」（1月21日）より



今年度の天龍村梅花駅伝大会がコロナ禍で中止になり、大会への参加やボランティア協力ができなくなってしまったこともあり、今まで若鮎タイムで走ってきたまとめとして、学校周辺のコースを3人1組5チームでたすきをつないで走ることにしました。

当日朝は大変寒い日でしたが、チームでつなぐたすきリレーは熱く盛り上がりました。走るのが得意な生徒も苦手な生徒も精一杯の力で走り抜く姿、「ガンバ!」「たのむよ!」と声を掛け合う姿、走り終わったあとの爽やかな笑顔（苦しそうな歪んだ顔も）とても素敵でした。

私たち教職員も生徒からエネルギーをもらいました。